
アビリティ・ゼロ

川元善明

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アビリティ・ゼロ

【Nコード】

N1080Z

【作者名】

川元善明

【あらすじ】

人類の約100%が超能力を持つ仮想現代。ボディーガードから傭兵まであらゆる荒事を引き受けるギルド『一騎当千』の稼ぎ頭の話。

かなりの不定期更新になりますが、よろしくお願いします

とある超能力歴史学者のメモ

歴史上初めて超能力者が確認されたのは約600年前。フランスのとある農村の少女だった。それ以前にも超自然的な力を振るう者がいたと言う者はいるが、それらは大概が神話や聖書の登場人物なので信憑性は低い。また、その少女の誕生のほぼ直後から世界各地でも超能力者が生まれるという現象が起きたことから、少なくとも現代にいるような超能力者ではないことは確かだろう。

当時の無能力者達の超能力者に対する反応は地域によって様々だったが、人々に大きな影響を与えた。ある国では神の遣いだ現人神だと崇めた一方、ある国では悪魔だ悪霊だと弾圧した。はじまりの少女も、最初は『神託』 という名の予知能力 を授かる聖女として敬われていたが、最終的には魔女と蔑まれ火炙りによって処刑された。超能力者達の誕生は世界という水面に大きな波紋をたてた。

しかしその後、超能力者として生まれてくる赤子は増え続けた。超能力者を迫害していた権力者達は自らの子にも超能力者が生まれ始めると、ピタリと超能力者の迫害を止めた。その頃には超能力者よりも無能力者が生まれてくる方が珍しくなった。そうして特別はスベシヤルに、少数派は多数派となつて、超能力信仰も差別も、超能力の有無から強弱や種類へとその対象が変わっていった。それらも今では、肌の白い者が偉いというのと同じように、低レベルの超能力者は人ではないとか魔眼系超能力者こそが至上の存在だとかのたまうカルト集団が極少数存在している程度だ。

なぜ超能力者は突然現れ始めたのか。超能力者と無能力者でなに

が違うのか。超能力とはなんなのか。それらの問に人類は未だ答えを出せていない。

それでも超能力は庶民の生活から軍事にまで広く浸透し、超能力についての研究 超能力の効率的な使い方、芸術・武術・医療・兵器などの各分野への応用、超能力の発現の過程、エトセトラ がなされた。ちょうど重力の研究と同じような状況だ。重力とは物と地球の間に発生すり引力であり、それがどのように物体に影響を与えるかまではわかっていないが、そもそもなぜ重力は発生するのかは未だに解明されていない。

そして21世紀を迎えてから十数年が経った現在。超能力者70億人に対して、無能力者はもはや両手の指で数えるほどしかない。歴史も、科学も、文化も、国も、人も、超能力と共にある。世界は超能力で溢れていた。

とある超能力歴史学者のメモ（後書き）

完結出来るようにがんばります

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1080z/>

アビリティ・ゼロ

2011年12月4日00時48分発行